

## 2.7\_3

### (3) インターンシップ

2021年度も2020度に引き続き、工学部の全学科でインターンシップが実施された。希望者数と派遣者数を表1に示す。合計欄の括弧書きの数値は、参考のために2020年度の希望者数と派遣者数を示したものである。希望者すべてを派遣することができているが、新型コロナ禍の影響により今年度の希望者数もコロナ禍前と比較して大幅に減少している。表2は、各学科が授業科目として単位認定しているインターンシップ科目の一覧である。インターンシップに参加し、各学科で定めた条件を満たした学生には、これらの科目の単位が認定される。インターンシップの評価方法としては、レポート提出や実施報告書提出及び業務日誌等で行っている。表3にインターンシップ特別講演の実施状況を示す。土木建築学科(土木・地域デザイン)は、3年生の進路をゼネコン・コンサル・公務員・研究職の4分野に分け、卒業生に協力を依頼し、表3に示すようなかなり充実したインターンシップ特別講演会を実施している。

2021年度も、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言などにより、各学科で例年通りのインターンシップや企業見学の実施が困難となり、特に年度前半ではインターンシップへの参加の自粛、企業見学での現地訪問の中止を余儀なくされた。このような厳しい状況下でも、リモートを活用した新たな様式のインターンシップの在り方が模索された。リモートや一部現地でのインターンシップ参加、オンラインでの企業見学の企画などにより、緊急代替の対策を取る学科も見られた。加えて、インターンシップの報告会を遠隔（Zoom）で開催し、インターンシップ参加の機会が得られなかった学生を含め、体験や情報が共有されたようである。また、インターンシップ先企業に赴いての実習の機会は限られたものの、リモートでのインターンシップに複数社参加する学生も見られた。

コロナ以前も授業科目としてのインターンシップ参加者が減少していたが、この背景には、企業が夏休み以降（授業期間）に実施している会社見学や1-DAYインターンシップの増加があった。学生にとっては少しでも早く就職活動を始めたいという思いがあるので、短期のものに複数回参加したがる傾向がある。これによって大学が目的とする長期のインターンシップは敬遠されつつある。さらにインターンシップに参加すると就職試験時に有利であるとの情報が広がっているため、就職先として考える企業以外への参加を渋る傾向もみられる。コロナ禍では、この傾向がさらに進んでしまったのかどうかは計れないが、このような状況は学生の視野を狭め、かつ深く仕事について知ることを妨げるになると考える。今後もインターンシップの本来の意義を学生に伝えると共に、企業に対しても教育効果の高い新しい様式のインターンシップの実施を依頼する必要がある。

表1 2021年度 工学部インターンシップ実績表 ( )は2020年度の数

学 科 名	プログラム名	希望者数	派遣者数
土木建築学科	土木工学教育プログラム	35(56)	35(56)
	地域デザイン教育プログラム		
	建築学教育プログラム	42(38)	42(38)
機械数理工学科	機械工学教育プログラム	7(4)	7(4)
	機械システム教育プログラム		
	数理工学教育プログラム	2(1)	2(1)
情報電気工学科	電気工学教育プログラム		
	電子工学教育プログラム	4(4)	4(4)
	情報工学教育プログラム		
材料・応用化学科	応用生命化学教育プログラム	2(7)	2(7)
	応用物質化学教育プログラム		
	物質材料工学教育プログラム	8(21)	8(21)
合 計		100(134)	100(134)

表2 2020年度 各系学科のインターンシップの授業科目

学 科 名	プログラム名	授業科目名	必修・選択科目	単位数
土木建築学科	土木工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	地域デザイン教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	建築学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
機械数理工学科	機械工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	機械システム教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	数理工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
情報電気工学科	電気工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	電子工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	情報工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
材料・応用化学科	応用生命化学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	応用物質化学教育プログラム	インターンシップ	選択	2
	物質材料工学教育プログラム	インターンシップ	選択	2

表3 2021年度 工学部インターンシップ特別講演実施状況

学 科 名	講 師 名	会 社 名
土木建築学科(土木・地域デザイン)	江副哲氏(卒業生)	株式会社不動テトラ
	安藤宏恵氏	熊本大学
	平江文武氏	日本地研株式会社
	仲道貴士氏(卒業生)	(独)水資源機構
	永谷英基氏(卒業生)	鹿島建設株式会社
	福島大介氏(卒業生)	
	脇中康太氏	熊本高等専門学校
	野田知美氏(卒業生)	熊本県庁
	春木宏美氏	熊本国際空港株式会社
	高尾篤志氏(卒業生)	株式会社奥村組
	西村桃香氏(卒業生)	
	秋山秀樹氏(卒業生)	国土交通省 水管理・国土保全局
	白井康夫氏	基礎地盤コンサルタンツ株式会社
高野大樹氏(卒業生)	港湾空港技術研究所	
松寄千彩希氏(卒業生)	西松建設株式会社	

※オンラインで実施されました。